



城南中だより

学校教育目標

希望と愛をはぐくむ
美と活力の学校

7月特別号 令和6年7月19日発行 第5号

〒339-0034 さいたま市岩槻区笹久保577 <http://jounan-j.saitama-city.ed.jp/>
TEL 048-798-0007 さわやか相談室直通 048-797-0514

夏休み 脳を鍛える

校長 吉原 誠 士

アルファベット1～2文字の記号が原子の粒を表すことは中2で学習します。水素原子がH、酸素原子はOなど全118種類あります。この記号を使えば水をH₂O、二酸化炭素だとCO₂というようにすべての物質を世界共通語として書き表せます。しかし中学校理科では、最低限必要な20種類程度を覚えるだけです。私自身は化学の時間に全種類の丸暗記（当時未確認・未合成だったものを除く103種類）を求められたものの、忙しい高校時代でもあり不完全なまま終わりました。

理科の教員として数年が経った頃、チャレンジが好きな私は「クイズ形式で合戦して勝者となれたらボーナス点を与えます」などと生徒を煽り、自分も復習に精を出すことにしました。人間の脳は「覚えれば覚えるほど覚えられるようになる」造りになっていて、中学から高校時代を含む十代がその絶頂期ようです。子どもたちは成功報酬の効果も加わってわずか数日で脳内が整うのに、多少のアドバンテージがあるはずの私はかなり苦戦しました。・・・勝利は逃しませんでした。

電子媒体に記憶を代替させ、AIに思考を頼りきれば脳は弱ることでしょう。私には、覚えたり考えたりする活動を機械に従属するかのよう展開する教育に抵抗感があります。PCも生成AIも人間の頭脳が生み出したものであり、そのような「発明や豊かな発想ができるような脳を育成する教育」にこそ価値があると考えます。学習でコンピュータを活用するのは結構ですが、デジタル機器は「適切に」「必要に応じて」使うものであり、「脳を鍛えること」を妨げてはなりません。

という訳で、この夏休みを「記憶が簡単にできる脳に鍛錬する」ことに重点に置いて過ごすのはいかがでしょう。私自身は中学生時代に暗記した「日本国憲法前文」や『竹取物語』『源氏物語』『枕草子』『徒然草』『方丈記』『奥の細道』冒頭部分などが今でもすらすら出てきます。皆さんも「難しい」「大変」「無理」などと言わずに挑戦してください。「118原子記号」「教科書記載全年号」「三つの幕府の全将軍」などもいいでしょう。「百人一首」をすべて頭に入れてあれば「脳の改善」「高校の予習」「かるた部への入部準備」の一石三鳥です。友人には戦前の学生のように「歴代全天皇」を制覇した強者もいました。まずは呪文のように唱えることができればいいのです。達成感と満足感を得ることは他の学習に好影響を与えます。ぜひ挑んで結果を知らせてください！

8月28日、元気を皆に会うことが楽しみです！
充実感と満足感にあふれた夏休みにしてくださいね！